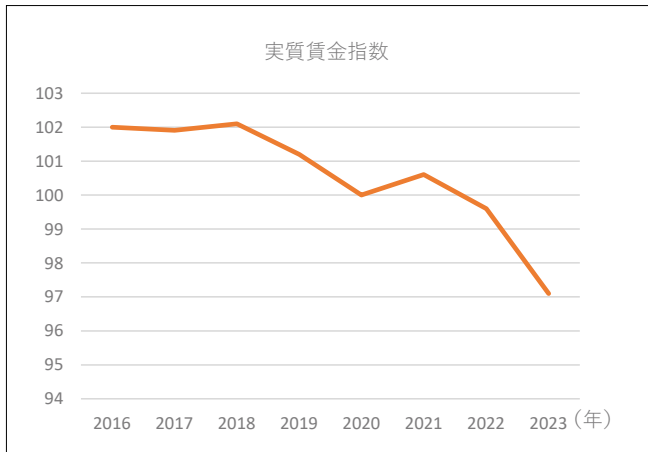
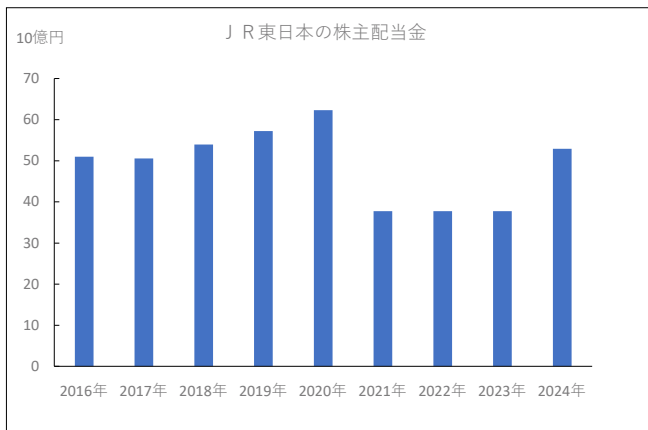


J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

JR東日本 23年決算

株主配当529億円

株主配当40%増、労働者ベア3.15%



J R 東日本は4月30日、24年3月期の決算を発表しました。株主への配当は前年度の約377億6千万円から約529億1千万円へと、なんと151億5千万円、約40%の増額となっています。特に期末配当はコロナ前を超える過去最高の配当額です。

大幅賃上げと定昇カット回復を

一方、4月からの新賃金は、定期昇給を含めて「5.01%の賃上げ」と発表されました。定期昇給は現状維持で、賃上げ分のベアは平均で3.15%です。

新賃金と同時に回答された夏季手当は2.7ヶ月分で、いまだにコロナ前から減額され

たままです。

23年度の消費者物価指数(生鮮食品を除く)は前年度から2.8%上がっています。食料の価格は7.5%上がり、1975年度以来の伸びです。電気代・ガス代の補助が6月分までで停止し、円安などで物価はさらに上がります。実質賃金は下がる一方です。そもそも、J R 東日本は21年4月以来、丸3年の定期昇給カットを続けています。

職場に闘う労働組合を

現場には実質賃下げや業務融合化や合理化、要員削減などを強制しながら、株主配当だけ大幅増額は本当に許せません。

巨額の株主配当や役員報酬ではなく、現場で働く労働者の生活を守るべきです。

労働条件を改善する力も、会社の施策に対抗するパワーも、職場からの声と団結した闘いにあります。職場には闘う労働組合が必要です。